

信州大学医学部附属病院にて

2006年、2011年、2016年、2021年にご出産された方またはご家族へ
保健学科学生の卒業研究にご協力をお願いいたします。

2024年6月1日

「信州大学医学部附属病院における分娩のリスク因子及び分娩が母体や胎児に与える影響の研究」に関する卒業研究を実施しております。

信州大学医学部保健学科倫理審査会の審査による保健学科長の承認を得て、保健学科4年生が卒業研究のため、教員の指導の下で調査を行っています。

既存の検体や診療記録(カルテ情報)、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は卒業論文の作成に使用しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

ただし、下記「研究不参加の申し出締切日」以降、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

研究課題名	信州大学医学部附属病院における周産期のリスク因子及び分娩が母体や胎児に与える影響の研究
指導教員名	金井誠(信州大学医学部保健学科 小児・母性看護学領域教授)
研究実施期間	保健学科倫理審査会承認日～2024年12月31日
研究の意義、目的	様々な周産期情報を比較検討し、「低出生体重児となるリスク因子に関する検討」、「経膈分娩での分娩時出血量に影響を与える因子の研究」、「高年妊娠が分娩に及ぼす影響に関する検討」、「分娩所要時間に影響を与える因子と、分娩所要時間が分娩に与える影響の研究」を行うことにより分娩のリスク因子や分娩が母体や胎児に与える影響を明らかにすることができ、母体や胎児の安全を守る周産期ケアの質向上に貢献すると考えられます。
対象となる方	2006年、2011年、2016年、2021年の1月1日から12月31日の期間に当院でご出産された方。

利用するカルテ情報 ／検体	助産録に記載されている以下の項目： 母体年齢、経妊回数、経産回数、母体分娩時身長、母体分娩時体重、 分娩週数、分娩所要時間、分娩時出血量、出生体重、出生時身長、胎 盤重量、帝王切開の有無、帝王切開の適応、吸引分娩の有無、陣痛誘 発の有無、陣痛増強の有無、陣痛促進剤の使用の有無、母体合併症・ 産科合併症、児の状態、入院時血圧、妊娠高血圧症候群の発症の有 無・程度、分娩サマリー、分娩様式
研究方法	研究者がテーマに基づいて上記のデータから必要な項目を抽出し、そ れぞれの情報の関係性の有無について検討を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
研究不参加の申し出 締切日	2024年7月31日
問い合わせ先	金井誠： 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部保健学科 小児・母性看護学領域 代表 0263-35-4600 (内線)3582 (外線直通)TEL/ FAX; 0263-37-2399 E-MAIL; makotok@shinshu-u.ac.jp